

第15回議会報告会 報告書

地域名	建屋地域		
年月日	平成29年4月25日(火)	会場名	建屋教育集会所
開始時間	19時30分	終了時間	21時00分
参加数	男性 12人	女性 0人	合計 12人
班長	政次 悟	司会者	政次 悟
報告者	班員全員	書記	谷垣 満
班員名	政次 悟、谷垣 満、荒田 幹夫、瀬原 達夫		
	市 民		対 応
報告に対する質疑	<p>①十二所・澤線道路舗装の修繕を要望しているが実行されない。議会から改修を当局に要望できないか。</p> <p>②野谷山、御大師社付近の倒木による、隣接岩の崩落対策を要望したがどうなっているのか。</p> <p>③やぶパートナーズ(株)は市の活性化が本来の目的であることを、市民も議員も理解していない。赤字や会社の問題のみを取り上げて批判する風潮は理解できない。</p> <p>④総務文教常任委員会の報告は、小学校の人数が50人以下の場合は一概に統廃合を進めるべきという意味なのか。</p> <p>⑤農地付き空き家取得の要件緩和など取り組んでいるが、空き家バンクの登録数が少ない。市が家主にお礼や一時帰宅補助金など支援してでも推進すべきではないか。</p> <p>⑥家主の特定が困難であったり、連絡のつかない危険家屋・特定空家の解体を市で行うことはできないか。</p>	<p>①予算もあり優先順位をつけて順次対応しているが、その内容を含めて、関係者への十分な説明が必要であると感じる。</p> <p>②危険木・障害木として対応されると思う。</p> <p>③所管である総務文教常任委員会で、現在調査を行っている。6月議会の委員会報告で、設立目的や運営方法について市民・議会が正しい認識を共有できるよう精査していきたい。</p> <p>④統廃合も選択肢の1つではあるが、計画ありきで推進するのではなく、地域や保護者の方と議論を深めて幅広い判断をする必要性を示すものである。</p> <p>⑤詳細な情報のデータベース化を進めている。 地元地域や自治協議会にも協力いただき、登録数と成約数の増加に努めたい。</p> <p>⑥費用の請求先が特定できない解体を市が行うことは、選別・順位などの判断が難しく、現状では実現に至っていない。</p>	
意見交換会での質疑	<p>①建屋安井谷線の早期開通について、議員個人の意見・見解を聞きたい。</p>	<p>①・市の堆肥センター活用の観点から推進する必要性も考えられるが、予算の関係で中断していると感じられる。 ・県の事業であり、震災などの関係から予算の問題であると思うが、議員として実現に向けて努力したい。</p>	

市 民	対 応
<p style="writing-mode: vertical-rl; position: absolute; left: -40px; top: 50%; transform: translateY(-50%);">意見交換会での質疑・その他（提言など）</p> <p>①建屋安谷線の早期開通について、議員個人の意見・見解を聞きたい。</p> <p>②能座橋欄干に貼ってある石が以前から剥がれているが、改修されない。</p> <p>③6次産業化支援センター入居事業所のオープン予定など、現状はどうなっているのか。</p> <p>④鶏舎周辺の臭気や伝染病予防石灰飛散、水溶流出など、畜産公害について市に対策を求めているが、解決に至っていない。県に直接対策を求めてもよいものか。</p> <p>⑤報告会を含め全般的に市役所、議会と協議・質問してもその場で終わってしまう。その後の経過を報告してほしい。</p> <p>⑥要望書は市長と議会いずれかに提出すればよいか。</p> <p>⑦獣害対策の柵補助の基準が団体で300メートル以上となっているが、満額でなくても要件に満たない事例にも対応すべきではないか。</p> <p>⑧雪害施設復旧補助事業（ビニールハウス等）は被災者の申告制か。</p> <p>⑨要望は自治協議会を通じて行ったほうがよいか。</p>	<p>・整備再開に向けて、農道ではあるが、交流や災害時の活用など多面的な観点で議論する必要性を感じている。</p> <p>・要望活動を継続していくことも大切であり、観光基盤整備の側面も視野に入れて必要性を求めることも一案である。</p> <p>②区から要望を出していただければ順次改修が行われるのではないかと。</p> <p>③（地元住民より回答） マイハニーは現地で使用する機械を搬入中である。 樽正は数日前、地元雇用従業員10名に説明会を行った。オープンは未定である。</p> <p>④養父市に要望されているが、改善されない原因と改善に向けた方向性を協議する必要がある。議会からも確認する。</p> <p>⑤報告されていると認識しているが、その場だけの意見交換にならないように確認を行う。</p> <p>⑥別組織であるので、両方に出していただくほうが情報共有でき、より伝わりやすい。</p> <p>⑦補助金を制定する上で一定の基準を定めることが必要ではあるが、国・県の制度の隙間を市が補う必要性も検討の余地がある。</p> <p>⑧申告のあった方に向けて説明会を行っているが、対象施設はほぼ把握できている。また、林道等への雪害倒木の被害調査は、区長を通じて現在行っている。</p> <p>⑨区長からでも自治協議会からでも可能である。</p>
備考 なし	

議会報告会を実施したので、上記のとおり報告いたします。

平成29年5月1日

報告者 1班 班長 政次 悟

